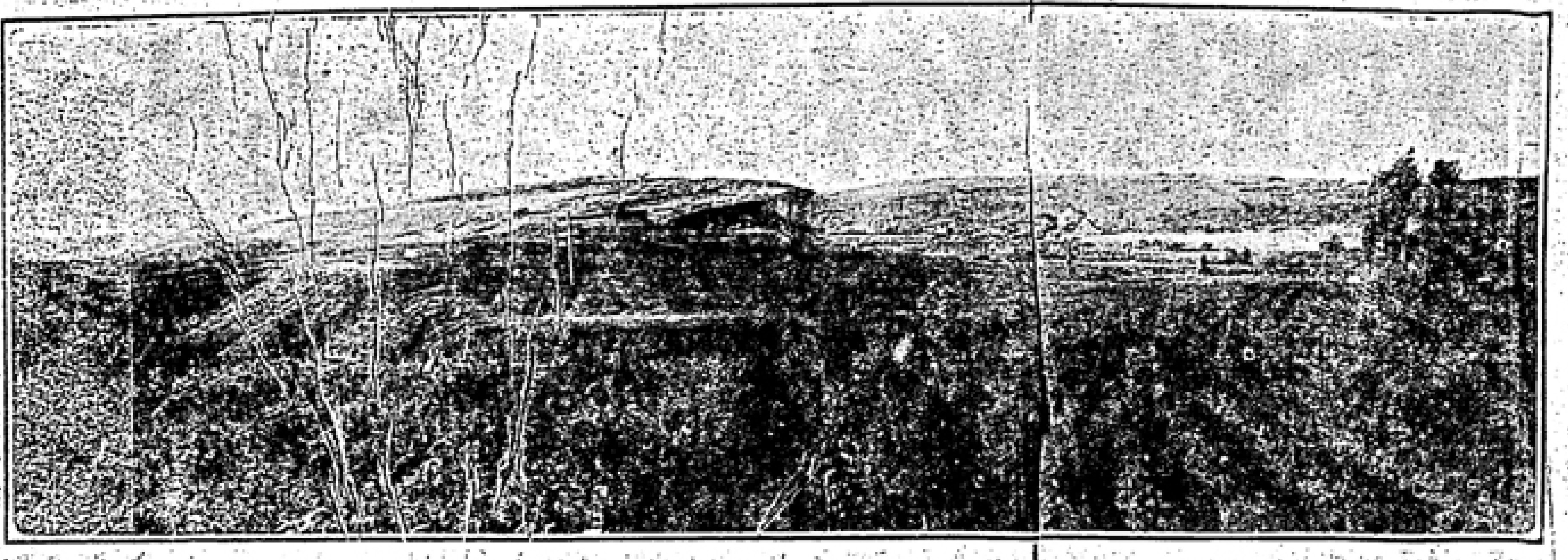
緑丘

非賣品
（發行所）緑丘會
發行兼編輯人　富士元武雄
印刷所　太陽閣合
印刷人　石渡勝太郎

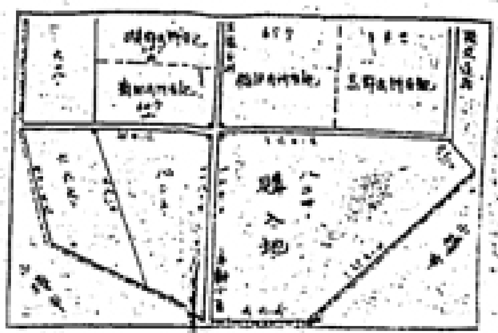
市と學校

校長　伴房次郎

本校も創立以來既に十五年に達した。其の間に當市は頗る順調の發達をなしたが學校も之に伴つて順調に發達して設立の意義を示し得た事は喜びに堪へない所であります。夫についても市民諸君の好意と援助とは我々の感謝措く能はざる所であります。「市の爲めに」「市に依りて」この二つは平生我々の關懷を忘らないのであります。北海道の産業は將來大いに變化を致しましよう。小樽市の商工業上の地位も從つて大いに變りませう。我々は市の將來の繁榮を期待しつゝ本校が常に其の同伴者たらむことを祈つて居ります。



（上圖）新グラウンド全景
（下圖）新グラウンドの位置



新運動場工事概略

運動場所在地	鹽谷郡忍路村津輕町字伍助澤八二四番地
運動場面積	約二〇〇〇坪
切取工事最高地	三〇尺
土取（切取坪數）	六二四三立坪
土盛（盛土容積）	六〇一八立坪
工事費用（第一期）	一〇二〇七圓
工事期間（同）	五ヶ月間

岡田文相をこの席に迎え

この歡を分ちたい

「上野の櫻も散り果てゝゐた五月、私は文相の門を敲いた。折しも皇后陛下が女高師行啓の砌とて、まさに出發せられんとしてゐた所だつたが特に數分を割いてお會ひ下さつた。其の時の事である。

「小樽高商はどうも運動場に不自由で困つてゐるんですが此の際學生が自發的に努力を提供し裏山に約一萬坪の地均しをやつて新運動場を建設しようと意氣込んでゐるんですが如何でしよう」と云ふと文相は案をたゝいてよろこばれ「それや近來の痛快事だ、大いにやつてくれ給へ、實にいゝ事だ」と非常な讚意と激勵の辭を賜つた次第である。「私は其の御言葉が聽きたさに遙々來たのであり實に何よりの御土産です」と謝して歸つて來た樣な次第である。さて起工式の時校長が君の樹に記念された事は今尙耳に新たなる所である。然し因果月に迄つて五ヶ月今この丘に立ち、この運動場を眺め得た感慨にたへざるものがある。我等は文相を今日この席に迎へこの歡びを分ちたい。

大運動場の完成に際して

國家の利害を考慮する大商人であつて欲しい

寺田省歸氏談

多年貴校によつて希望せられ又小樽市民によつて切望されて居た大グラウンドが、貴校學生の熱と汗とに因つて完成されたと云ふ事は慶賀に堪へない。然も貴校が、此の大グラウンドの完成を期として創立より一層學校と市民との接觸を計畫されたと云ふことは、兎角社會に離れ易い學理を實社會の組織の中に持來るの意味に於て誠に當を得たる氣であると私は信ずる。

私は貴校創立委員の一人として現在の貴校と開校當時の貴校とを思ひ合せて見るときに、誠に感慨深いものがある。丁度牧野伸顯子が文部大臣の時であつた爲、時の北海道長官河田[illegible]氏から一萬坪の敷地と二十萬圓の寄附金の提出が可能なら小樽に[illegible]を設置しやうとの相談が、[illegible]三、渡邊兵四郎、小町谷[illegible]の諸氏と私とに持掛けられたが、この二つの條件の[illegible]一萬坪にも[illegible]二十萬圓の寄附[illegible]の敷地[illegible]の小樽の[illegible]から[illegible]を許さ[illegible]武氏が率先して親しく[illegible]に渡邊[illegible]、木村[illegible]、[illegible]所有地であつた[illegible]が貴校敷地として決定されたのである。尤も開校當時は[illegible]から相當の[illegible]があつた[illegible]と云ふ[illegible]が多かつた。

學生の風紀

……などについて今昔を對比してみると、敢て貴校の先輩諸氏をあげつらふわけではないが、開校當時の學生の素行に就いては兎角問題が多かつた。[illegible]に於いては兎角[illegible]を聞かされたが[illegible]のであると私は信ずる。

（以下次號）

[illegible]には先ず心の健全を期したい

渡邊兵四郎氏談

昔は吾等時代に格別に運動をと云ふものはやらなかつた。それは運動に[illegible]べくもない。この点は[illegible]身体の[illegible]な心身鍛錬の方法を執る必要がなかつたからでもある。今日の若い人達からは團體を[illegible]事を好まないかも知れぬが、私には昨今の運動競技の盛んな所がどうも的確に納得する事が出來ない。私などは幼少の頃日常の勤務に忙殺せられて、運動などと云ふ事は念頭に置くことも許されなかつたし、又その必要も認めなかつた。これは私の經驗から推して[illegible]ものであるが、鍛錬さへ徹底すれば、身体はそれに伴つて健康を保てるものである。殊に最近の冬期のスキーに就いても遊戯としての興味と技術の微妙だと云ふ方面から云へば、誠に結構なものであるが、實益の方面から言つて、どうかと思ふ。それに比較すればあのカンヂキと云ふものは、あれは元來はアイヌから傳授したものであるが、山野を跋渉して荷物を運搬するにはこれ程便利で有効なものはあるまいと思ふ。スキーは成程山嶽を滑走して下るには、適當なものであらうが[illegible]。

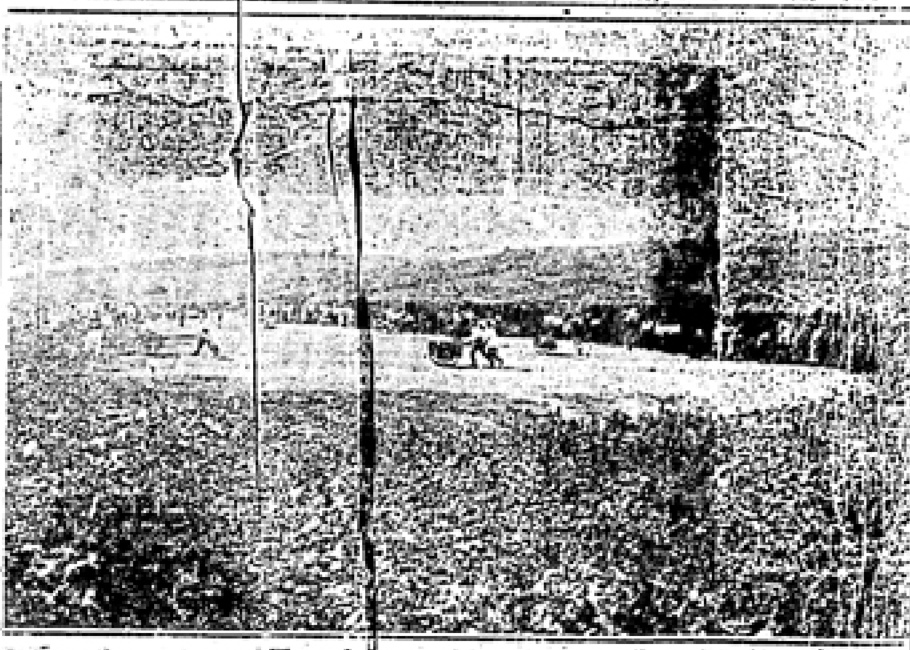
小樽高商創設當時の事情を回想するのも、又この記念すべき時に當つて興味のある事と思はれるが、[illegible]の爲めに[illegible]青森[illegible]の候補地に[illegible]へて、地元から[illegible]の申請も[illegible]して、[illegible]三十八萬圓[illegible]内二十五萬圓を負擔する事に[illegible]決定せられたもので、その[illegible]な次第である。

今[illegible]の學生諸君が、進んで[illegible]を提供し、大グラウンドの建設[illegible]された[illegible]と云ふ事をはつて、實に現代の青年の[illegible]に大なる刺戟を與へるものであると思ふ。

小樽市民一般のために高商今日の擧は誠に慶賀に堪へない

秋山常吉氏談

[illegible]觀念の國民的に旺盛[illegible]文部に高商諸君の[illegible]小樽市民一般の[illegible]步くさも此處に[illegible]私共の青年期には[illegible]がある。[illegible]あらゆる方面に於て、私共の時代に比して[illegible]大なるものがある。[illegible]青年諸君、[illegible]男らしい體格を保持して[illegible]健全なる心からの喜びなのである。



學生勞働の光景

貴校の卒業生がもつと多數當地に止つてほしい

木田川市長談

[illegible]一ヶ月位だからね[illegible]を費へてゐる譯ではないが[illegible]して市長は語る。[illegible]のグラウンド丈ではさうして[illegible]まで[illegible]グラウンドが出來たことは[illegible]グラウンド完成に至るまですべて[illegible]をやつてほしい。そして[illegible]グラウンドに立つ者に對[illegible]にしても結構な[illegible]に成は[illegible]の方が[illegible]。

[illegible]市民の[illegible]についても各[illegible]人も自發的に[illegible]してくれる事であらう。[illegible]に[illegible]市民の[illegible]を利用して體育の[illegible]努めてゐる。この[illegible]は高商[illegible]の運動部が市民と[illegible]運動競技を一般に普及して[illegible]たい。

[illegible]に考へてゐないが[illegible]の方面に[illegible]にすべて[illegible]となり模範となつて貰ひたい。[illegible]殊に私の[illegible]へた事は貴校の卒業生で當地に止まつてゐる者が少いと云ふ事である。もつと多數當地にゐて活躍する必要がある。[illegible]に[illegible]が[illegible]を保つて行く事は結構な事である。[illegible]には立派な[illegible]も會社もありそれぞの商店や[illegible]人は皆[illegible]であるから時に招聘して親しく實務上の[illegible]をきく事は[illegible]めてい、事もある。然しさうするためにはたゞそれ等の人々と學校との親交が必要である。然しそれ等の事は皆校長さんの[illegible]にある事である。

一日に[illegible]があるんですね[illegible]そんな[illegible]を利用して市民と親しみを増して行く事は結構なことです。私も行きたいですが丁度三十日から上京する事になつてゐますので[illegible]ながら御招待に應ずることも出來ませんが、まあ盛大にやつて下さい。又時々おいで下さいんどは[illegible]へて置きますから」[illegible]感謝して[illegible]の門を出ずれば[illegible]秋の日射（一〇・二七）

御用意下さい
冬のお仕度を
中折と鳥打
エリマキ
ワイシャツ
毛布
セーター
毛メリヤス
色内町
越治洋品店
TEL 38

櫻ビール
自信をもつておすゝめする

十一月一日より開店
優越せる時計と眼鏡
粋な貴金属と
婦人頭飾品
花園公園通り
西村時計店
粗品呈上

FUJIYA
詩嚢ゆたかなる秋よ……
この代表的文房具と
共に
貴下机上の親しみたれ
1925、あき……
高商通り……
繪畫材料
高級美術品
フジヤ文房具店
呼出一一六八番

第三號
校友會
原稿募集
（注意）姓名明記
第一回締切期日　十一月一日
編纂部

14 12

新設「グラウンド」を祝賀して

我校友の事業は宛ら曠原の一大樹木の如し

競技委員長　平尾丹治

緑丘學園の名聲 高く、堂々たる校舍と、其設備の完全なるに對し、未だ曾て唯一の運動場を得られざりしことは常に吾人の腦裡に彷徨せし所の問題たるに過ぎない。然も漸くにして此の問題は解決せられ、此の偉大なる難問題は、特記すべき、校史の一事業として此れを成し遂げ、今や第一期の工を竣へ、茲に其の**祝賀會を開催**するに逢ふ。吾人何の辭を以て祝賀を表せむか。

學園の背後に負ふところ遠くして連亘する一大山脈は、名に負ふ、五助澤高商山の山嶽である。新設せる山嶽は展開せられて、新設の大「グラウンド」となり、脚下遙に小樽の[illegible]を臨み、白浪高く、出入する[illegible]は、之れに背準の元氣を發するものがある。誠に心の氣分身心の爽快、元氣の一新を覺ゆる**革新的動機**を興ゆるものにあらずして何ぞ。

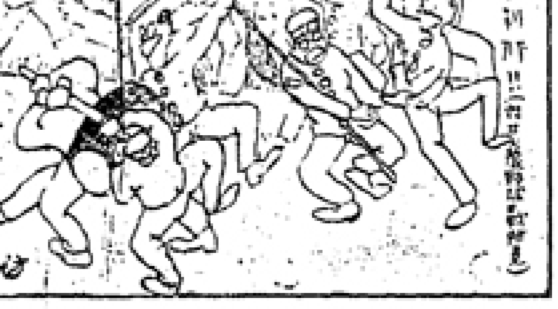
顧みて、緑園の歴史を繙けば、明治四十四年五月の創立であり、爾來既に十五星霜を重ね、學園は幾多の經驗を作めて、現在の如き光輝あり、特色ある、發育を成し遂げたと思ふ。有機體は決して停止固定するものではない。常に進化もするし、或は退化もするものである。緑園の有機體は常に活動的であつて、決して靜止的ではない。若し靜止的であつたとすれば、腐敗の第一歩であり、今日の**燦爛たる光彩**はなく、高商「スピリット」の生命はないからである。我校々友の事業は宛ら、原始林の一大樹木の如く、深くも、其根を下ろし、其生命は無限で、絶へず成長し發達しつゝあるのが、我校の使命であり、亦現在の状態である。緑園學舍は[illegible]に於て**更に其使命**を完ふすべき最良の機會たる運動場を得たのである。此の有機體が發躍すべき時期は、是れによりて展開せられた校風の發揚は、期して待つべきである。人は謂ふ、運動は體育の爲なりと。然り體育は其直接の目的であらう。然しながら運動は他に吾人人類の使命を果す上に効果を有するものであると謂ひたい。或者は身心相關の理を以て之を説明する。亦或者は「スポーツマンシップ」の語を以て之を説く、亦或者は[illegible]の**競技運動**であると説く、何れも眞に近い。然し吾人は常に思ふ。運動、競技は吾人日常の生活の道德的方面は、之れに依りて修養せらる、謂はば生活行動を延長したるものが運動であり、競技である。自主、獨立の觀念、敢爲進取の氣象「オポーネント」に對する心事、協調、[illegible]一つとして、運動競技に表現せざるなし。漸く斯くすれば運動は遊戲なりと謂ふても何ら非合理には考へられないのである。自己ならず若し運動競技を以て人類生活の益大使命を果すべき一大要諦を企圖するを考ふれば、之れには經濟的、政治的、[illegible]的、其他幾多の科學と關係を有するもので、之等の綜合が、吾人の身體を通じて、**運動場裏に表現**せられたるもの、之れ運動なりと解すべきである。吾人の運動に關する意見は、複雜したるものであらう。而も運動の意義は重且大なるを思ふとき常に科學的に研究を重ね、合理的に此の方法を講ずることが緊要で、眞の運動競技に到達すべきものなりと斷定するものである。

我軍再び優勝す

高橋の強肩に敵軍の打撃を封し
我軍の健棒に敵陣を混亂せしむ

對北大野球戰

前日の秋雨は全く晴れ元氣溌剌たる我選手を擁して應援團五百の健兒は決勝の意氣を示して戰場に乘り込む。[illegible]に引かれたグラウンドに我軍のナインが白のユニホーム鮮々しく現はれる。[illegible]側の我應援團から[illegible]のやうな拍手が起る。シートノックが始まると次から次へとファインプレーを見せて觀衆を喜ばせる。戰ひまだ開始せられざるに早や敵をのむの慨がある。やがて午後一時半審判の嚴かな試合開始の宣言に戰ひの幕は切つて落とされる。第一回我高橋投手よく敵の打撃を封じ三者凡退に終らしめ、より彼の冴えた腕を現はす。[illegible]軍は之に對し[illegible]をプレートに立てたが我軍の健棒よく彼の球を打ち安打續出先づ二點を擧げて敵軍を制す。第三回敵投手の球に慣れた我選手は確實な打撃にて更に二點を取る。第五回豫科[illegible]投手の投げた[illegible]の危機に瀕した[illegible]るに乘じ[illegible]の努力、非なきを得かくて我軍は第五回に一點、第八回に一點を占め、之に對し豫科軍は僅に第七回に二點を入れたのみで我軍遂に六Ａ對二にて再び大勝す（評[illegible]）



起工より竣成まで

功勞の人々

苫米地教授

糸魚川教授

今漸く第一期の工を終へ、土にまみれた手を洗つて靜に新しい水平な土地の擴がりを見る。そこには不斷に獻身的によくあれ[illegible]に働いて下さつた教授の[illegible]が湧き行く。

◇……◇……◇

顧れば丁度昨年の今頃であつたが糸魚川先生にお伴して守崎君と私とが藪入して測量に半日をこの山上に費した事であつた。熊笹の間がほろ／＼に朽ち果てどこともなく[illegible]し廻つた[illegible]何さんでもない所に轉がつてゐるのを見出した樣なこともあつた。

さうさう測量まで漕ぎつけた[illegible]は先生の胸にみなぎつてゐた。或は學生の無理解を作り、或は當局者を動かし殆んど交々せられた。大計畫こそ[illegible]は遂に今日この盛んな運動會をなつて具體化した事を信じてゐる。今は東京留學中にあつてこんな夢を見てゐるだらう糸魚川先生は、遂に成功と御健康とを御祈つてやまない。

彌く工事が始まる。學生が交代で勞働奉仕す。慣ない勞働にはすぐに疲れ勝な學生の手に[illegible]しつゝりと汗にぬれた顔をあぐればあニコヤかな苫米地先生の笑顔ぁ、見返せば我等の成功はそこへやら[illegible]と操續ける。寒に淡[illegible]緑ケ丘を擁く三角の夏の風も、冷たい秋の雨も、常に我等の第一線に立つて或は激勵に或は[illegible]にきなしと云ふも敢て過言ではない。

驚くべき鋭い勘で工事の進行に一度は苦しひられ、一度は工難と見るやを以て二十尺の土を積ばし校の後を求める。先生は[illegible]を思ふ千二百の生徒がてこれに[illegible]する。我等の上に[illegible]この先生を戴きこの[illegible]なる[illegible]

◇……◇……◇

間もなく北海道にも夏が來る。竣工の日は前途はるかである。愛校の熱に燃く多數同志は來るべき夏の休みをフイにして眞黒になつて土を堀り土を運ぶ。[illegible]を貪る學生ではないか。

見よ[illegible]一正君、小樽の港に汽笛の鳴らない日があつても[illegible]の赤シャツ姿を工夫の中に見出さない日があつたらうか。[illegible]の功勞はモッソーの名と共に永へに緑ケ丘にあの新グラウンドの上に[illegible]ふものであらう。

◇……◇……◇

我等はこゝに其の功をたゝふべき多くの人を持つてゐる。而も限られた紙面にこの編輯子は泣く。（下）（文責は編輯部）

緑丘生活の新傾向

根底に流るゝ團結的精神
此の運動會も其の一表現

面壁生

緑ケ丘 を[illegible]行はる・今日の盛んな催しに際して私は一寸學生の立場から、そして私の日に映じてゐる學生の氣風傾向を[illegible]し、併せて緑ケ丘の學生の希望を緑ケ丘關係人に述べて見たい。學校に歸つて初めて氣が付き、そして日に月に益々その感を深くしつゝあることは、學生の[illegible]が甚だ熾烈であり、團體行動が盛になつたことである。之は嘗ての私達の學生時代には見られなかつた**緑ケ丘學生生活史**上に於ける一つの新しい傾向である。グラウンド工事の竣工は謂はば此愛校心を高調さした團體的行動の一顯れである。今日では秩序整然たる學生大會が屢々開かれる。それは定に[illegible]しいことである。私達の時代にはそれらが無かつた。卒業期も間近に迫つた時、私は或る機會に於てテラスノーヴは前で學生大會の開催を圖書館の開放を叫んだことがある。（此の他にもう一つ重要なことがあつたと思ふがそれは略す）之は當時に於ては**[illegible]自身が**[illegible]であることを證明する以外に何等の[illegible]に現れない。[illegible]を與へなかつた。今昔の感は時に[illegible]される。合併のエスタップなどはまても今日でなければ見られない大仕掛なものだ。だが私はその根據に流る・團結的精神を愛しい。學生自らによつて提唱された[illegible]今日の盛なる運動會もそのスピリットの一表現としてきうして見る時その意味に於てのみ[illegible]

緑丘文化の建設 を努力して、[illegible]ドストイエフスキー[illegible]新しき文化の建設は[illegible]除外しては不可能である。[illegible]規則と服從のみの生[illegible]ならぬ。憲法に參加[illegible]に於てのみ眞の[illegible]義務への自覺が[illegible]時に憲法者であ[illegible]ねばならぬ。[illegible]して自由へ！共同[illegible]そこに[illegible]達は緑ケ丘生活の目標を置きたい。

運動場新設に至る迄

Ｈ Ｔ 生

渡邊前校長 が崇高な人格と偉大なる抱負とを以て我が校を創立せられてから年を閲すること十有餘年、春風にも秋雨にも我が校を愛兒の如くに育英せられた渡邊校長を永久に我が校の主と仰ぎ度かつたことは同窓諸君、學生又敎職員の願であつたことは申すまでもなし。

小樽市民 諸君も同じ感を抱かれたことゝ思ふ。現在我が校の有するあらゆる施設設備で前校長の恩澤を受けてゐないものはないといふは自分一個の獨斷であるかも知れないが、恐らく内默に過ぎるとも諸君の等しく認められる所と少くとも自分は信じて疑はない所である。

中村教授 の如き・我が校の[illegible]であり、大黒柱である人々を[illegible]するに疑はれるかも知れないが、自分の言はんとする所はそんな所にあるのではない。仲校長が教授として在職拾年の間、専門學校に於ける[illegible]と一國の[illegible]する人物とは唯一人認めざるものがなかつた。卓見ある前校長は**この人を措いて**は他に我校を託すべき人のないことを信ぜられた。一方中村教授は前校長に取つては離し難い人であつたが、特に我が校のために[illegible]された。仲校長も中村教授を深く信任せられ、

教授は知遇 に報いるため骨身を惜みなく我が校の爲めに盡されてゐる。これがため我が校の益々發展する所以の基礎をなしてをり、運動場の出來ぬ事は云へるが如く、ウォーターローの戰は英國諸學校の運動場に於て[illegible]とするならば渡邊校長[illegible]以て此の運動場[illegible]られる。が、[illegible]にも亦輕々に[illegible]を許さないものがある。前校長の永遠の[illegible]に常に[illegible]、そこで[illegible]でなければならぬ。

國家の施設 を仰ぐ事の出來ないものを念がれた。寄宿舍の出來たのも、實驗室の出來たのも、正門の出來たのも、その先見の明で[illegible]講堂や運動場の如きは何時かは出來得るもの、教育上國家が**永久に打棄**てゝおく事の出來ないものは後廻しにてもよいと考へたのである。然るに不幸にして[illegible]となつた[illegible]所と學生諸君の熱意とに由り、[illegible]して運動場を建設し**範を天下に**垂れるを得るに至つたのである。元來此の事は冷靜に考へるに無理の要素を多々含むでゐた。校友會の財政では迚も合理的に企てられる事業ではなく、その上、世間の**不景氣と來て**ゐるので外部からの援助をも期することは望み難い。而かも綿密の計劃を立てる餘裕もなく、騎虎の勢で取りかゝつたのであるからして、幾度か難關に遭遇して**中止説迄**も出たことがある。然し、同窓諸君の御援助をとふことにし[illegible]今日も[illegible]なりにも一期竣工の祝賀をすることになつたのである。併し現狀では決して滿足出來得る程度ではない。けれども、現三年生諸君の**獻身的努力**その熱誠に對してこの祝賀なしで來春三月送り出すことは情に於て忍びない。之が[illegible]此の祝賀に向[illegible]

ある三千六百坪、口では少ない坪數であるが、切り取三十尺の高さに及び、埋立の高さ又二十尺、**誠に難工事**であつた。長い月日の間教授諸氏の熱誠なる監督、勞務、學生諸君の團結ある勞苦、考へるまでも涙ぐましい姿に[illegible]しい**愛校の赤誠**結晶して三千六百坪になつたかと思ふと、金の力で出來たものとは比較にならぬ尊さがある。

之が開校十五年の永遠に殘る我が校の花である

冀くば渡邊前校長、現在仲校長以下敎職員各位、同窓諸君、在校生更に未來の學生諸氏、此の花を賞らしむべく、運動場**建設の至誠**を永遠に傳へ、我が校をして感謝極まりなからしめ、一に小樽市民に報いる所あり、又邦家の爲め大に盡す所あらんことを。

終りに小樽市役所、殊に土木課の好意的御援助並に創立小樽商業學校、北海道商業學校の學生諸君が參加せられ、精神的に實質的に援助せられたることを**深謝する**。更に又土地を低廉に提供せられたる中田登次郎氏、好意獻身的に仲介の勞を執られたる荒崎長次郎氏に對し謝辭を呈する。

此の工事に對する十月十五日迄收支は大約左の通りである

收入之部

繰越金	八八〇、四一五
入會金	八七〇、〇〇〇
[illegible]金	五四五、〇〇〇
同窓會寄附 敎職員同窓會より借入金	五、九八三、五〇〇
計	八、八〇三、九一五

支出之部

人夫賃	九、九五二、四二〇
器具[illegible]	一、五三三、六四〇
消耗品	四九、〇六〇
運搬費	一〇九、七〇〇
試驗掘	一七八、二〇〇
射撃場	一五〇、〇〇〇
電柱移轉	一〇七、八〇〇
排[illegible]戸	八四、四〇〇
計	一〇、二〇六、九八〇

以上に於て明白なる如く去る十五日迄に不足金壹千四百〇三圓[illegible]を生じてゐる。その後の經費を加へると[illegible]は何等か補塡の方法を講ぜねばならぬ事になつてゐる。[illegible]諸君に此の上御賴りする事が出來ぬ。此の事實を御覧の上御援助を[illegible]び度いと存じます。一般からも出來る事ならば御寄附願ひ度いと希望して[illegible]

我音樂部の旭川に於ける活躍

運動場工事費捻出の爲に[illegible]はるゝや先づ音樂部蹶起して、村瀬教授デーケン教授を押して遠々旭川方面に旅行し一般私の工事に援助を與へた。中央に立つはデーケン教授

御禮

市の各方面の方々からは多大の御授助を戴きまして本日茲にこの盛大なる運動祝賀會を開催し得るに至りました事は校友會員一同感謝にたへない所であります。これを御縁として市と學校とが益々親密の關係に結ばれ、大小樽建設の上に我校友會が聊かにても竭し得れば幸と存じます。略儀ながら紙上を以て厚く御禮申上ます。

小樽高等商業學校校友會

小樽市民各位

十一月二日　三日　四日

吉例

冬物

大賣出し

冬の御仕度は丸井で……………
品質の優良と價格の低廉
それに何んでも揃つて品物が潤澤ですから御買物は！
丸井が一等便利で……………ございます

丸井

七日　八日　九日　〔三日間〕

二階にて

見切品

大賣出し

呉服太物類から諸雜貨類の時節向き必需品の格安
おつとめ品澤山
是非この機會に御徳用な御買物をおすゝめ申上ます